



## 検査情報月報8月号 ▶ 概要版 ◀



2023年8月発行

▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。

### 横浜市における2022/2023シーズンのインフルエンザウイルス流行株の解析

▶ 横浜市における2022/2023シーズンのインフルエンザの流行は、定点あたり報告数の合計は125.2人であり、過去10年間で8番目の規模の流行でした。

**主な結果** ▶ 2022/2023シーズンはAH3型ウイルスが流行の主流であり、病原体定点ウイルス調査におけるウイルス分離・検出数の割合は、**AH3型ウイルス81.1%、AH1pdm09ウイルス14.9%、ビクトリア系統のB型ウイルス4.1%**でした。

▶ AH3型ウイルス、AH1pdm09ウイルス及びビクトリア系統のB型ウイルスの分離株の抗原性状は、HI試験においてワクチン株と同等～4倍差以内の反応性がみられ、**ワクチン株と類似の傾向**がみられました。

### 農産物の残留農薬検査結果（令和5年6月）

▶ 食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。

**主な結果** ▶ ばれいしょ8検体、こまつな5検体、にんじん4検体、きゅうり3検体、キャベツ、トマト及びレタス各2検体、だいこんの根及びブロッコリー各1検体の計28検体を検査しました。

▶ こまつな3検体、きゅうり、トマト、にんじん、ブロッコリー及びレタス各1検体から延べ12項目の農薬が検出されましたが、**基準値を超えたものはありません**でした。

### 簡易専用水道及び小規模受水槽水道の水質事故の検査結果（令和4年度）

▶ 「簡易専用水道」と「小規模受水槽水道」の水質事故事例を2例報告します。

**主な結果** ▶ 事例1 「受水槽の水面に油分が浮遊し、青い異物が浮いている」との連絡を受け、水試料の8項目の水質検査を行ったところ、**水質基準超過は認められませんでした**。異物は**ポリエチレン樹脂とポリプロピレン樹脂と推定**されました。所有者は受水槽の清掃を実施しました。

▶ 事例2 「給水栓から茶色や黒い水道水が出る」との連絡を受け、給水栓水などの水質検査を行ったところ、**腐敗性臭気がひどく有機物などが水質基準を超過**していました。**ビルピット内の配管のつなぎ目に亀裂**が生じ、ビルピット内に雑排水が漏れ出て排水されず**受水槽が水没**したことが原因でした。所有者はビルピット内の雑排水を流す排水樋の詰まりを解消し、ビルピット内の清掃を実施しました。